

OTARU UNIVERSITY OF COMMERCE

GAKUEN DAYORI



小樽商科大学広報誌

vol.191

2022 SPRING

小樽商科大学 学園だより

入学おめでとうー！



COVER : YOSAKOI サークル 翔楽舞

● CONTENTS ●

学長挨拶.....	1
緑丘会理事長挨拶.....	2
全国大会に出場しました！.....	3
新人戦優勝！.....	3
危険な飲酒から身を守りましょう.....	4
「特別修学支援室」と「学生何でも相談室」に ついて知っていますか？.....	4

創立 110 周年記念シンポジウムを開催.....	5
シェアハウス Tug-B OPEN!!.....	5
令和 3 年度小樽商科大学緑丘奨励金授与式.....	6
インナーゼミナール大会開催.....	6
創立百十周年記念募金ご寄附者ご芳名.....	7
学生を支援する 2 つの基金【事業報告】について...	7
編集後記 / ブログ「商大くんがいく！」.....	7

ご入学おめでとうございます

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんが本学の一員となることを教職員を代表して心より歓迎します。

皆さんはコロナ禍で高校時代を過ごし、社会が大きく変わる姿を目の当たりにされたことでしょう。日本は他の先進国に後れをとっていますが、デジタル化社会、知識集約型社会へと大きく変わりつつあります。コロナ禍で我々が気付かされたこの変化をさらに進め、これからのウィズコロナ、アフターコロナの時代を切り開いて行くのは皆さんを含めた若い世代です。皆さんの世代はZ世代とも呼ばれますが、すべてにおいて新しい時代を作り上げる可能性を秘めています。自分自身の可能性を信じて、学生時代に勉強のみならず、あらゆることに挑戦してください。

一方で大学入学当初は高校とは異なる授業の選択、授業内容に戸惑うことがあるかもしれません。本学は皆さんの学びと能力開発をサポートするべく、一般教育、語学、そして経済、商、企業法、社会情報の4学科において多様な授業を提供しています。学び方もアクティブラーニングを広く取り入れ、主体的に学ぶ環境を整えています。対面授業と遠隔授業についても教育効果を考慮し、最適な組み合わせを作り上げるよう様々な試みを行っています。

大学での勉強は高校までと異なり、自主性が強く求められます。さらにこれからは社会に出てからも社会の変化に対応して継続的に新しい能力やスキルを向上させる必要があります。これまでは社会人の学びは企業内の研修などが中心でしたが、これからはその他に、自らのために学ぶ機会が増えます。生涯を通じて学び続ける習慣を早い段階で身に着けてください。

今年4月から本学は帯広畜産大学、北見工業大学と経営統合し、新たに北海道国立大学機構が創設されます。国立三大学の経営統合は我が国でも初めての試みです。しかも、距離が離れた大学の経営統合であり、全国からも注目されています。三大学の経営統合により1年生の段階から文理融合科目等を履修することができます。これにより、これまで以上に幅広く教養科目を学ぶことができます。また、遠隔授業ではありますが、他大学の農学、工学を学ぶ学生との交流も深めることができます。いわゆる理系の人たちの考え方もより身近なものになるでしょう。3、4年向けの副専攻プログラムも始まり、学びの幅は広がり、多様性を持つようになります。多様性は選択の幅を広げますが、一方で迷いも生じます。自らの目標を明確に定め、選択する目を養ってほしいと思います。



第11代 小樽商科大学長

沢 真

小樽商科大学新入学生に 対するメッセージ

新入生の皆さん、小樽商科大学への入学おめでとうございます。同窓生を代表して心よりお祝い申し上げます。一昨年来のコロナ禍で大変ご苦労を重ね狭き門をくぐられてきた皆さんに改めて敬意を表します。

また、今年は帯広畜産大学と北見工業大学との経営統合スタートの年です。皆さんも新たな気持ちで学業の修得や課外活動に邁進して頂きたいと願っております。

さて、商大は小樽の街と一体化し、昔も今も「街の商大」として親しまれています。国立大学では唯一の社会科学系単科大学で小規模ではありますが昨年、創立110周年を迎えました。商大は創立以来グローバルな人材を北海道はもとより全国に送り出しており、国際的な場で活躍しているOB・OGも少なくありません。

商大の「実学」「語学」「品格」を重視した教育は、本学における教育の基本でもあり特徴でもあります。他の社会系大学と比べて商大が誇る強みは何でしょうか？

例を挙げれば

- ①女性の一層の活躍が期待される今日において、女子学生が4割以上しめている
- ②ベンチャーや起業・創業を後押しする大学院・アントレプレナーシップ専攻がある
- ③ゼミやクラブ活動が活発で充実しており、それらを通して生涯の友との出会いがある
- ④留学生との交流や充実した海外留学制度を活用して多様性や国際性を学ぶ機会が多いなどがあります。

大学で何を学び、何を得て巣立っていくのか、皆さんはどのようなプランを持っていますか？先輩からの助言です。

第一に、学問を修めることは勿論のこととして、皆さんには国際的視点を持ち、日本国内はもとより国際的な動向にも強い関心を持って欲しいということです。最近では道内での就職を希望する方が増えているようですが、北海道の産業や経済の発展には、今まで以上に国際的な繋がりがが必要です。道内で職を求める場合であってもグローバルな視点が不可欠な時代になっています。

第二は、緑丘での4年間に、勉学に加えて、これはという経験を積んで欲しいということです。スポーツでも文化的なことでも良いのです。夢中になって打ち込んだ経験が社会に出てから大きな自信となるはずですよ。

商大には、小規模な単科大学だからこそ育まれてきた「学生、教職員、卒業生の強い一体感」があります。この緑丘で培われた強い絆が社会に出た後も続き、それが皆さんの財産となるはずですよ。

皆さんは今、真っ白なキャンパスの前に立っています。有意義な4年間を過ごし、自分自身の絵を思いっきり描いてください。



公益社団法人 緑丘会
理事長 島崎 憲明



小樽商科大学同窓会 緑丘会について

小樽商科大学の同窓会である「公益社団法人緑丘会」は、1939年（昭和14年）に法人化され、本部を東京・池袋サンシャイン60ビル・57階に置き、全国に24の支部、会員数約4,500名を擁しています。公益財団法人小樽商科大学後援会とともに母校の基盤向上のために、年間2千万円以上の規模で助成事業を行っております。

主な助成事業は次の通りです。

- ①学生の社会人基礎力養成、就業力育成に関する普及、啓発を目的とした「キャリア形成支援企業等セミナー」の主催
- ②正課教育である「エバーグリーン講座」の運営支援
- ③正課教育の一環として実施される本気（マジ）プロへの助成
- ④国際的な視野に立つ人材育成を目的とした奨学金給付及びTOEICの受験費用補助
- ⑤就職支援として就職アドバイザーの設置と就職活動資金の貸与等
- ⑥成績優秀者や留学生等に対する奨学金の助成

全国大会に出場しました！

2021年度は、限られた練習環境の中、
多くの団体が全国大会出場を果たしたよ！



ヨット部



●全日本学生ヨット個人選手権大会

結果：470 級 48 位 / 全 54 艇
スナイプ級 50 位 / 全 54 艇

●第 74 回全日本スナイプ級ヨット選手権大会

結果：65 位 / 全 68 艇

水泳部



●第 68 回全国国公立大学選手権水泳競技大会

結果：○奥山亜夢 女子 100 m 背泳ぎ予選 24 位
女子 200 m 背泳ぎ予選 18 位
○北出月環 女子 100 m 平泳ぎ予選 25 位
女子 200 m 平泳ぎ予選 23 位
○佐藤彩香 女子 100 m バタフライ予選 22 位

トランポリン競技部



●第 56 回全日本学生トランポリン競技選手権大会

結果：男子 ○谷駿之介 B クラス予選 12 位
○田大空 C クラス決勝 8 位
○前川陸 C クラス予選 15 位
○松橋怜生 C クラス予選 22 位
女子 ○山田ひろ C クラス予選 13 位
○大井紗彩 C クラス予選 17 位
○佐藤風歌 C クラス予選 19 位
○金澤優花 C クラス予選 23 位
○森田紀香 C クラス予選 24 位
○河田梨沙 C クラス予選 28 位



伝統空手部

●第 65 回全日本学生空手道選手権大会

結果：柏木花恵 一回戦敗退



漕艇部

●第 99 回全日本選手権大会 兼

第 48 回全日本大学選手権

結果：大学タイムトライアル敗退

硬式庭球部



●2021 年 全日本学生テニス選手権大会(男子第 89 回)

結果：シングルス ○仲川憲吾 一回戦敗退
○島川颯太郎 一回戦敗退
ダブルス ○新山悠永 二回戦敗退

●2021 年 全日本大学対抗テニス王座決定試合(男子第 75 回)

結果：一回戦敗退

新人戦優勝！新井 湧也さん

将棋部に聞く 将棋の魅力

●将棋の魅力

藤井聡太五冠の活躍によって注目されるようになった将棋。その魅力は、なんといっても「何歳でも楽しめる」ことでしょう。盤を挟めば年齢に関係なく、同じ土俵で戦えることが最大の特徴であり、一番の魅力だと思います。

●新人戦優勝

昨年 10 月に行われた『北海道学生将棋連盟 2021 年度新人戦』で、新井 湧也が優勝しました。以下、新井のコメントです。

「コロナの影響で思うような大学生活を送っていませんでしたが、部活動で結果を出せて嬉しかったです。今後の大会も頑張りたいです。」

将棋部には現在 11 名が在籍し、週 1 回オンラインで活動しています。詳しいことはツイッターで「小樽 将棋」と検索してみてください！

将棋部代表 山谷 帥温



危険な飲酒から身を守りましょう

2012年、本学で飲酒事故があり一人の若く貴重な命が失われてしまいました。私たちはそのことを深く心に刻まなくてはなりません。大学生の飲酒に伴う事件、事故は全国で繰り返し起きていますので、飲酒の危険性を理解し、命や健康が脅かされることがないように行動しましょう。



20歳未満は飲まない、20歳未満には飲ませない

2022年4月から成年年齢は18歳に引き下げられますが、20歳未満の飲酒禁止は変更されていません。その理由として、若年者の飲酒には多くの危険があるからです。

▼身体への影響

脳の機能低下や性腺機能障害を起こしたり、アルコール依存症が短期間で発症します

▼事故・事件のリスク

交通事故、転倒・転落、溺水のような事故にあたり、暴力行為などの犯罪に巻き込まれる危険性が高まります



STOP！アルコールハラスメント ーしない・させないー

飲酒の強要や飲まない人を侮辱することは人権侵害です。命を奪うこともあります。次のような行為は全てアルコールハラスメントです。絶対にしない・させないようにしましょう。

飲酒の強要

上下関係・部やサークルの伝統によるはやし立てなど心理的圧力をかけて飲ませること

イッキ飲ませ

一気のみ、早飲みをさせること

意図的な酔いつぶし

酔いつぶすことを意図して飲み会を行うこと、傷害行為にあたる

飲めない（飲まない）人への配慮を欠くこと

本人の体質や意向を無視して飲酒を勧める、飲まないことをからかう、侮辱すること、アルコール以外の飲み物を準備しないこと

酔ったうえでの迷惑行為

酔って絡む、悪ふざけ、暴言・暴力、セクハラその他のひんしゅくな行為

特別修学支援室は、障がいのある学生の皆さんが大学で充実した学びができるよう支援するための部署であり、授業担当教員や学内外の各部署と連携して必要な教育的配慮を計画・実行していきます。

もうひとつの**学生何でも相談室**にはカウンセラーがおり、学生生活上の悩みにアドバイスをを行います。相談の内容は、性格に関すること、友人関係や恋愛関係に関すること、部活・サークルに関すること、アルバイトに関すること、学習・進路に関することなど多様です。「こんなこと相談していいのかな」などと心配する必要はありませんので、悩みの解決のための一つの選択肢として、お気軽に利用していただきたいと思います。

両相談室の開室時間や予約方法については、新型コロナウイルス対策の状況により変更の可能性がありますので、下記のウェブサイトをご確認ください。

特別修学支援室 https://www.otaru-uc.ac.jp/special_support/

学生何でも相談室 https://www.otaru-uc.ac.jp/counselling_room/54167/

「特別修学支援室」と「学生何でも相談室」について知っていますか？

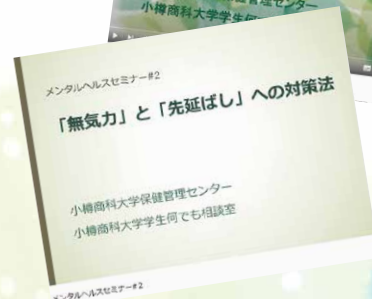
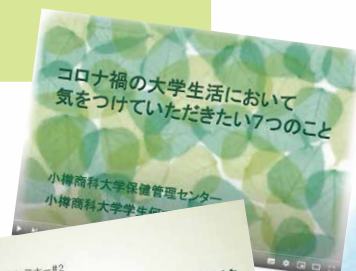
また現在、学生何でも相談室では本学学生のメンタルヘルス対策として、スタッフの一人である杉山カウンセラーのセミナー動画を公開しています。ぜひ視聴していただき、学生生活にお役立てください。

第一回 コロナ禍の大学生活において気をつけていただきたい7つのこと

<http://www.youtube.com/watch?v=jBIM53VP1qc>

第二回 「無気力」と「先延ばし」への対策法

<http://www.youtube.com/watch?v=5cHzl00eQDQ>



創立 110 周年記念シンポジウムを開催

令和3年10月15日(金)、道新ホールにて創立110周年記念シンポジウムを開催しました。

本学の卒業生である福井 慎二氏(元 NHK アナウンサー)が司会を務め、主催者代表として穴沢学長からの挨拶の後、石屋製菓株式会社 石水 創代表取締役社長による「変わらぬ経営理念、変わる経営戦略」と題した基調講演が行われました。石水社長からは、幼少期の思い出や、道内外の企業との提携・ドバイへの進出などこれからの経営戦略について話がありました。

続くパネルディスカッションでは、道内企業の経営者等により、観光業における北海道の魅力やブランディングや企業が求める人材像について活発な意見交換が行われ、会場では約200名の観客・招待客が熱心な様子で聞き入っていました。



学生発ベンチャー企業が

シェアハウス Tug-B OPEN!!

まちの日常に in 小樽

学生や旅人が溶け込む、

複合型コミュニティ施設

を作りたい!



コワーキング
シェアハウス
ゲストハウス
カフェバー



小樽花園に、複合型コミュニティ施設 Tug-B を立ち上げます!

カフェバー・ゲストハウスにシェアハウスが併設されており、最大15名が共同生活を行う新しい暮らしの拠点となります。

シェアハウスでは住民を大募集しております。詳しくは HP をご覧ください!

planing & operation 合同会社 PoRtaru

私たち、合同会社 PoRtaru は小樽商科大学の学生が設立した学生ベンチャーです。

「本気プロ(マジプロ)」という授業の中で、「商大生レンタル」というテーマで取り組んだことから始まり、授業が終わった後もその活動を継続して取り組みたいという想いから起業しました。

現在は、「商大と小樽を繋ぎ、新しい価値を生み出す」を理念に、ソーシャルビジネスの実証を行っています。

3分の2以上が市外から通い、小樽の街との接点が少ない商大生と、高齢化と人口減少の続く典型的な地方都市小樽。そんな二つが、今までにない形で結びつくことで、まだ見ぬ化学反応を生み出して行きます。



令和3年度 小樽商科大学緑丘奨励金授与式

令和3年7月16日(金)、本学大学会館多目的ホールにおいて緑丘奨励金授与式が挙行されました。

緑丘奨励金は、本学の教育・研究活動にさまざまなご支援をいただいている公益財団法人小樽商科大学後援会からの助成により、前年度に優秀な学業成績を修めた学生18名に給付されるもので、学部は2・3・4年次生(各5名)、大学院博士前期課程及びアントレプレナーシップ専攻は2年次生(各1名)、大学院博士後期課程は3年次生(1名)に給付されます。

授与式には公益財団法人小樽商科大学後援会理事長である島崎憲明様、同副理事長である早川好寛様にご臨席いただきました。穴沢学長から学生に表彰状と奨励金が授与された後、お祝いの言葉と、今後社会に出てこれまでと違う局面に立っても、大学での学びを活かして、活躍してほしいと励ましの言葉が贈られました。



第33回 インナーゼミナール大会開催！

ゼミナール協議会は12月9日(木)に学生自治会と共同で、インナーゼミナール大会を開催しました。本大会はゼミ同士の研究内容の交流を主な目的として開催される、今年で33回目となる伝統ある大会です。

今回も前回同様 zoom によるオンライン形式で開催しました。石川ゼミ「日本企業の収益率は欧米企業より低い」、木村ゼミ「北海道179市町村の地域課題の見える化に向けて」、片桐ゼミ「駆ける車イス バリアフリー徹底調査 in 商大」、平沢ゼミ「地域公共交通における自動運転バスの社会受容性に関する研究」といった様々なテーマの発表があり、非常に興味深いものでした。全ての参加ゼミが、専門の知識がない聴衆に対してもわかりやすい説明に努め、有意義な大会となりました。また審査員の先生



駆ける車イス

バリアフリー
徹底調査in商大

片桐ゼミ



方には、的確で鋭い意見、評価をして頂き、活発な議論が行われました。

本大会は自ゼミの研究分野についての知識を持たない聴衆に対してわかりやすく、かつその分野について興味を持たせるような発表を通じて、自分達の活動を振り返ると共に、これからの研究活動へと繋げる一助とすることを目指しております。来年度以降も多くのゼミに参加して頂けるように努めて参ります。ゼミの皆様も奮ってご参加をお願い致します。

ゼミナール協議会 椎木 太一

創立百十周年記念募金ご寄附者ご芳名

本学では、令和3年7月に創立百十周年を迎えるにあたり、本学同窓会と連携し、目標額1億1,500万円として令和4年3月末まで募金活動を行っております。すでに、目標額を超える募金が集まっており、ご賛同いただいたたくさんの方々のご厚誼に感謝申し上げます。誠にありがとうございました。引き続き募金活動をおこなってまいりますので、皆様におかれましては、格別のご支援、ご協力をいただきたく、心よりお願い申し上げます。

国立大学法人小樽商科大学 創立百十周年記念募金 ご寄附者ご芳名 (令和3年1月～12月末の寄附者)

個人の部(敬称略・五十音順・匿名ご希望の方は除く)

穴沢 眞 奥野 勝政 佐藤 真康 西山 茂 浜崎 舞 藤森 隆

学生を支援する2つの基金(事業報告)について

皆様からご寄附をいただきました修学支援基金及び教育振興基金につきまして、令和3年度は以下の事業を実施しております。

○修学支援基金について

1) 給付型奨学金事業

- ①本学が北海道大学と連携してワクチン職域接種を行うにあたり、北海道大学でのワクチン接種を推進するため、「ワクチン職域接種促進給付金」を創設し、1,448名に2,000円(総額2,896,000円)を給付しました。
- ②新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、学資負担者の収入減少や、アルバイト先が休業するなどの理由で収入が激減し、経済的に困窮している学生に対して「学生支援給付金」として、98名に21,000円(総額2,058,000円)を給付(一部は日本学生支援機構助成金から給付)しました。

2) 授業料免除特別枠事業

2021年度前期 対象者 8名の授業料1/3を免除しました。

2021年度後期 対象者 11名の授業料1/3を免除しました。

○教育振興基金について

事業名	実施予定額(円)
(1) 学生の正課・課外活動への支援事業	
1. 課外活動遠征補助金	300,000
2. 学外学修推進のための地域連携ブリッジ教育プログラム学修奨励金	420,000
3. 教育用資料購入経費支援	300,000
(2) 学生の国際交流活動への支援事業	
1. グローバル人材育成のための TOEFL 受験料補助事業	1,300,000
2. ギャップイヤープログラム奨学金	5,000,000
3. 事情科目(スタディツアー) 奨学金	1,000,000
4. 海外危機管理サービス	250,000
(3) 学生の地域貢献活動への支援事業	300,000
(4) その他基金の目的達成に必要な事業	570,000
計	9,440,000

※事業実績額は令和3年度の決算後にホームページ等でお知らせします。

編集後記

学園だよりは、毎号、教職員および学生の皆様の協力を得て作成しています。今回も、多くの方にご協力いただき、本当にありがとうございました。

今後も、商大生の活動・学生生活等について幅広くお伝えしていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます！
(学生支援課)

小樽商大の新鮮な情報を発信！

ブログ「商大くんがいく！」



商大職員と学生がタッグを組んで作っている「商大くんがいく！」ブログでは、商大生の活躍はもちろん、学内のさまざまな旬のトピックスがご覧になれます。

https://www.otaru-uc.ac.jp/shoudai_blog/